



至誠の泉

甲斐市立双葉中学校
学校だより
発行 校長 加藤 忍

令和7年度 1月号
2026. 1. 9

◎2026 (信念) が始まりました。新年はウマれ変わるチャンス、きっとウマくいきます



年頭にあたり故事『人間万事塞翁が馬』を贈ります。

人生における幸不幸は予測不可能で、良いことが悪いことに、悪いことが良いことに転じるというたとえで、物事に一喜一憂せず、長期的な視点を持つべきだという教えです。

この由来は、古代中国の書物『淮南子(えなんじ)』の寓話に基づいています。住人の飼っていた馬が逃げる→良馬を連れて戻ってくる→息子が良馬から落ちてケガをする→ケガのため兵役を免れ戦乱を無事に過ごす…人生の先は見通せないから今の状況に浮かれたり嘆いたりしないで前向きに構えることが大切であると。こんな心がけて午年を過ごしませんか。

◎2学期終わりの校長あいさつ(12.22終業式にて)

テーマ「生きる喜び」—これは、2025年度上半期、NHK朝の連続ドラマ「あんぱん」の登場人物の話です。生徒のなかにも録画して観ていた人がいましたかね。主役は奥様でした。アンパンマンの作者である、やなせたかしさんは、はじめは売れない絵本作家でした。今でこそ、アンパンマンのことを知らない子どもたちはいません。しかし、やなせさんが描き始めた頃は、話題にもならなかったそうです。自分の頭を食べさせるとは、と編集者には嫌われ、もう二度と描かないでください、とまで言われたとか。しかし、子どもたちはアンパンマンを大好きになり、幼稚園や保育園でその人気は広がりました。

やなせさんには、第2次世界大戦で兵隊として戦った経験があります。戦時中、食べるものがなく、みんなお腹をすかせていました。その経験から、アンパンマンは自分の顔をちぎって、お腹をすかせている子どもを助けます。正義の味方、アンパンマン。自分を犠牲にして人を助ける姿は、大人もアンパンマンを好きになります。そのやなせさんには「逆転しない正義」という信念があり、それは献身と愛だとおっしゃっていました。

やなせさんはあるとき、何かが足りないと感じます。それが悪役で、バイキンマンが登場することになります。ハヒフヘホー(とH先生が叫ぶ)、別れるときは、バイバイキーン(とM先生が叫ぶ)、最後は、ア〜ンパンチでやられてしまいます。悪役だけど、憎めない存在の登場により、正義と悪の対決がたくさんつくられました。実は、私たちの人体にも細菌とばい菌はどちらもあり、バランスをとっています。ばい菌がないと人間は生きていけないのです。共存しています。アンパンマンがいつもバイキンマンを殺さず、困っている人を助けているのは知っての通りです。

アンパンマンで生きる喜びを表現したやなせさん。戦争ではたくさんの命が犠牲となりました。だからこそ、命の大切さや、人が生まれてきた意味を深く考え、作品を通して人々に生きる意味を訴えたかったのでしょう。小学校でうたった、♪僕らはみんな生きている〜「てのひらを太陽に」の作詞も、このやなせさんです。

作者の生き様を知ると、ドラマや話の意味がひと味違って見えてきます。みなさんもぜひ、

「何のために生まれて、何をして生きるのか」を、考えてみてください。

「こたえられないなんてそんなの嫌だ」と双葉中生に叫びたいです。

3年生の進路選択はすぐそこです。生きる意味を考えて、新年2026を迎えてほしいと思います。2026が素晴らしい「信念」になりますことを祈っています。

最後に、「アンパンマンは君さ(これを読んでいるあなた)」だと思います。

「愛と勇気だけが友達さ〜♪」、であることをずっと信じて応援しています。



PS

年末の夕方、Eテレでやなせさんの初期作品「やさしいライオン」と「ハルのふえ」(アニメ)を視聴しました。優しさに溢れた温かい話でした。朝ドラあんぱん総集編も、紅白歌合戦のステージも、上の話を意識して、考えながら観ることができました。

◎新生徒会役員の紹介（1月9日に認証式がありました）

【生徒会長】 2年 Oさん

【生徒会副会長】 2年 Yさん、2年 Nさん、 1年 Yさん、

【生徒会事務局】 2年 Aさん、Iさん、Fさん、 1年 Oさん、Iさん、Sさん

◎文化コンクール、運動分野での生徒の活躍（12月9日以降の記録です）

【第75回社会を明るくする運動作文コンテスト】

◇特別賞「挨拶と防犯」 2年 Mさん（2月行われる峡中地区作文発表会に参加します。次号で作文紹介）

【第48回NHKギャラリー賞絵画展】 ◇山梨県知事賞 3年 Tさん

【教育祭県下小中学校図画工作・美術作品展】

◇県特選 3年 Nさん、Hさん、 2年 Kさん、1年 Kさん

◇中巨摩 3年 Kさん、Sさん、Mさん、Kさん、Sさん、

Hさん、Iさん、Mさん、Tさん

2年 Kさん、Sさん、Yさん、Fさん、Yさん

1年 Mさん、Yさん、Tさん、Aさん、Nさん、Yさん

【J A共済全国書道コンクール山梨県大会】 ◇佳作 2年 Uさん

【山梨県明るい選挙啓発ポスターコンクール】 ◇佳作 2年 Aさん

【中巨摩理科自由研究発表会】 ※県の研究発表会ではすでに2名（Tさん、Nさん）が受賞しています。

◇優秀賞 Uさん、Hさん、Iさん、Yさん、Yさん、Aさん、Kさん

【ソフトテニス女子 中巨摩1年生研修大会】

◇第1位 1年 Oさん・Oさんペア ※その後の県1年生大会ではベスト8に進出しました。

【剣道 県新人戦（11月8日）】 前号の訂正をさせていただきます。

◇個人 男女ともに2名出場し、（誤）4名とも初戦敗退 → **（正）** 女子2年Hさんは1回戦勝利しています。

☆税の作文紹介 『税によってできた当たり前の生活』（前号で紹介した2年Kさんの優秀作文原稿）

私はいつもの学校生活で教科書を当たり前のように使っている。授業の時に毎回必要だからだ。誰がどこでどうやって制作しているかは分からないけれど身近な存在である。…中略… その教科書の後ろを見ると「この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切にしましょう。」と書かれていた。この文を読み、初めて教科書が「税」によって国から支給されていることを知った。税金によって負担があまりかからないようにし、人々の支えとなる税について興味をもつきっかけとなった。私が気になっていた教科書を無償にする税は「教育税」と言われている。他にも黒板や楽器、理科の実験道具から学校の校舎まで、様々なところに使われている。なぜこんなにも広い範囲で教育税が使われているのかを調べたら「子どもたちが学習できる環境を整備するためです」と出てきて、私たちが学校で勉強を受けられるのも税のおかげなんだと分かった。…中略… 私は教科書で気づいた税のありがたさについて知ることができた。これからもみんなで助け合って生活していくために、税についてもっと深く知り、自分が大人になって納められるときがきたら、次は私が未来の子どもたちのために払おうと思った。また、当たり前の生活が当たり前できるように「税」によってできていることを考え、感謝していこうと思う。

★もしクマに出会ったら … 今のクマは冬眠しない？

- ①大声で叫ばない。物を投げつけない。
- ②ゆっくりと、後ずさりして逃げる。
- ③カバン等の持ち物を置いて、クマが気をとられている隙に逃げる。
- ④近くの民家や商店、公共施設に逃げ込み、保護してもらう。



【今月の言葉】 「至誠にして動かざる者は、未だ之有らざるなり」

3学期は毎朝「至誠の鐘」を卒業生（現3年生）に1回ずつ鳴らす機会を設けます。

双葉中を巣立つ**自覚と誇り、母校愛と生きる力**を育むためです。

そこで、あらためて至誠について調べました。出典は、中国の孟子の言葉です。

至誠の心を尽くしても心を動かさなかったという人はいまだいないことから、

「まごころをもって人に接すれば、人は必ず心を動かしてくれる」という意味になります。

